



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail jyurakusou@futabakai.or.jp

第26号

敬老お祝いポスター

敬老感謝祭前日に利用者皆様が元気になるような、可愛いポスターが氷川保育園より届きました。この場をおかりしあげます。



米と日本文明 (健康談義 その二十)

介護老人福祉施設 医学博士 佐藤 守雄

元来植物性蛋白質はそのアミノ酸組成が動物性のものとは著しく異っており、栄養効率が悪い。米だけは例外で、その生物価は88、つまり米蛋白質100gで人体蛋白質88gを作ることが出来る。一日必要量の蛋白質を摂るためには、米なら5合(750g)を食べればよいが、30と生物価の低いパンなら2.3kgも食べなければならぬ。とても食べられずアミノ酸やトリプトファンが多い肉を食べることになり、分量の差こそあれパンも肉も主食なのである。一方、米5合に塩を舐めていても生きてはいける。副食とは米をおいしく食べる為の引き立て役である。又、嘗てよく食べていた糖味噌漬は、糠の中のビタミンB1が野菜の中に移行し、熱処理で破壊されるビタミンも、浅漬けや一夜漬けではよく保たれ、総合ビタミン剤の役割を担って来た。しかし、白米食が普及し始めた江戸時代、享保年間には、ピタミンB1欠乏による「江戸患い」、脚気が発生し6万人もの死者が出たと言われる。明治・大正に至っても、脚気による死者は年間2万人にも達し、結核と並ぶ「亡国病」であった。又、米を主食とした食生活は食欲増進用の塩分の量を増やし、その結果、高血圧・脳出血・胃がん発生の危険因子となった。近年、米の摂取量が減り、逆に肉類、脂肪摂取の増加は、心筋梗塞・糖尿病・高脂血症・大腸がん・乳がんなどの成人病を増加させている。何事も万事に都合の好い玉虫色などということは存在しないことを、肝に銘ずべきである。日本人の食べているジャポニカ米は、米と水だけで炊いた白いご飯(ブレインライス)で食べるのが基本的な食べ方(主食)となり、粘りのあるジャポニカを箸でつかむ「箸文化」が生まれた。更に冷えてもおいしく食べられる特色から、鮭、お握りも生まれた。これに対し外米緊急輸入で経験したように、インディカはパサパサして香りもあり、香辛料と油を使い、熱いうちに食べる。このように糖分と脂肪を同時に摂ることは、肥満を来し易く感じしない。最後に世界の食糧事情と、日本に於いて水田の果たした役割について、概括してみよう。世界人口の爆発によって、地球人ひとり当たりの食糧生産量が下降しつつある現在、日本は主食の米の自給までも放棄しようとしているのか。米の輸入自由化という外圧も加わり減反が行われ、民族の遺産である美田が雑草の生えるに任せる土地に変わっている。近い将来起るであろう食糧不足の時、如何に生き延びるかは必要食糧の自給以外あるまい。先年の米凶作による外米緊急輸入をみても、現在日本の米生産体制の脆弱さが分かる。しかもこの大量輸入は、米を買えなくなった貧しいアフリカ諸国の飢餓を助長した。最も恵まれた米生産条件を持つ日本が生産調整をしながら米の輸入を行うことは犯罪的であり、何のため国際貢献を唱えるのか。又、前にもふれたが水田は米生産だけでなく、「水田ダム」として年間50億トン以上の貯留能力があり、それは、治水ダムの容量を上回って2兆円の治水費用を節約し、稲作は6兆円分の酸素を供給していると言われる。飯令(たとい)米という商品は輸入出来ても、水田や水、緑や酸素や景観などは、決して輸入することは出来ない。これ美田を子孫に残すべしとする所以(ゆえん)である。

敬老感謝祭

平成十九年九月八日(土)に敬老感謝祭を開



河村文男町長の祝辞

催いたしました。九十一歳以上の方三十六名、九十歳(牟寿)の方五名、八十八歳(米寿)の方六名、八十歳(傘寿)八名、七十歳(喜寿)の方五名、七十歳(古希)の方一名をご紹介させていただきましたが節目の年齢でなかった方も含め皆様にお祝い申し上げます。

式典後の第二部では、青梅交通安全協会女性部の皆さんによる交通安全劇場、香川美佐子歌謡ショー(左上写真)を利用者の皆さんに楽しんでいただきました。また「双葉ダーナの会」(左下写真)の皆様のご協力を得まして模擬店が開かれ敬老感謝祭を盛り上げて頂きました。ボランティアの皆様、またご協力くださいました皆様にお礼申し上げます。



東京都福祉サービス第三者評価結果報告について

8月17日(金)、NPO法人福祉経営ネットワークにより、評価結果報告書報告会が行われました。

詳細は『とうきょう福祉ナビゲーション・福祉サービス第三者評価』で結果を確認することができます。(<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)

第三者評価結果を受け、さらなるサービスの向上を図るため、個人情報保護規程・個人情報保護のための行動指針(個人情報保護のための宣言)・個人情報保護に関する方針(プライバシーポリシー)・施設ボランティア受入規程・ボランティア受入時留意事項について等を整備し、平成19年10月1日より施行します。

介護サービス情報公表制度による訪問調査の実施に関して

昨年に引き続き、介護サービス情報公表制度による訪問調査を、株式会社ハンドワークスにより8月27日に受審しました。

調査結果の公表に関しては「東京都指定情報公表センター」(<http://www.tokyo-jkc.jp/kaigosip/Top.do>) で確認いただけますので是非ご覧下さい。

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザウィルスを心配する季節が近づいてまいりました。

職員への予防接種も励行してまいりますが、利用者の皆様へもアレルギーなど接種困難な理由がある場合を除き予防接種をお奨めいたします。

費用は1回につき2,200円で、接種は1回行えば十分とのことです。

前回の流行が遅い次期から始まったことを考慮しますと、11月下旬から12月上旬頃に接種して頂くのが時期としては理想的とのことです。

お申込は、双葉会診療所若しくは看護師へお願いします。



お盆供養 迎え火、送り火をおこなっています。施設でお亡くなりになった利用者の方々を偲んで供養させていただいております。



スイカ割り 7月18日・8月8日
氷川保育園児を招き賑やかに行われました。



慰問 8月4日神庭神楽（左写真）・8月5日下中組獅子舞（右写真）の皆さんの慰問で利用者皆様も楽しんでいただきました。

施設内アンケート結果について
8月及び9月にご協力いただきました面会時のアンケートに関して、忌憚ない貴重なご意見をいただきましたこと感謝申し上げます。
施設としては頂きましたご意見を真摯に受け止め、順次改善に努めてまいりたいと考えております。
アンケート結果につきましては、次号（20年1月号）でご報告いたします。

双葉ダーナの会
町内外有志の方によるボランティア団体であり、全ての会の運営により、年5回（寿楽荘3回、琴清苑2回）の式典の際には模擬店を出店していただいております。



盆踊り大会
8月5日（日）に開催された盆踊り大会には大勢の方にお集まりいただき、花火にそして『双葉ダーナの会』による模擬店で年に1度の行事を楽しまれていました。

本広報誌に記載しております、お名前・写真につきましてはご本人、若しくはご家族より承諾をいただいた上で掲載しております。

鮎の寄贈

奥多摩町社会福祉協議会を通じて、古里友釣り研究会の皆様より七月九日に信州上田・千曲川で釣り上げられた鮎の寄贈がありました。

七月十日の夕食で栄養課にてお吸物の具として「つみれ鮎」にして利用者皆様に召し上がっていただきました。ご紹介させて頂くとともに御礼申し上げます。



古里友釣り研究会の皆様

自衛消防訓練効果確認について

8月29日に奥多摩消防署立会いにて、自衛消防訓練審査会が行われました。夜間を想定しての、火点確認・通報・初期消火の他、利用者の避難誘導に重点をおいた一連の訓練内容確認が行なわれました。

今後も全職員で様々な訓練を積重ねることにより、寿楽荘利用者の皆様が災害のない安心した生活を送れるような施設でいられるよう努力していきたいと思えます。



結婚おめでとうございます



この度、介護職員吉村弘さんと介護職員島崎葵さんがご結婚されました。この場をかりまして御祝い申し上げます。皆様と供に利用者の皆様に紹介させていただきます。まだまだ若い二人でありますので皆様から暖かいご指導をよろしくお願いいたします。

今後の行事予定

- 10月
 - ・スポーツ大会
 - ・マス釣り
 - ・買い物バス
 - ・湯豆腐会
- 11月
 - ・紅葉ハイク
 - ・紅葉会喫茶
 - ・買い物バス
- 12月
 - ・成道会
 - ・忘年会
 - ・買い物バス



ご注意下さい

お車にてご面会に見える際には、今冬以降の降雪による道路の凍結や凍結防止剤の散布による路面状況をお伝えさせていただきます。ご乗車の際は、道路状況をお知らせいたします。

編集委員紹介

- 広報委員長 村木 清
 - 編集委員長 清水 栄
 - 編集委員 青木 池田 坂本 島崎 中村 牧野 牧野 三富
 - 主任 養士 事務主任 介護主任 介護主任 看護主任 介護主任
- (編集委員五十音順)
上記委員により今後も寿楽荘だよりは定期的に刊行される予定です。